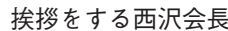
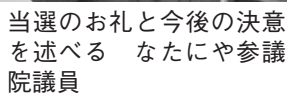


日退教の翼をさらに大きく

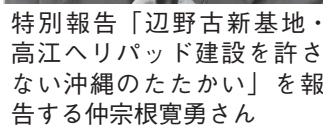


ざる者は食うべからず」を思い出す。弱者・貧乏人は自己責任で仕方ない、と言う風潮が広がっている。では、「現代の贖物の力」は何か。それは「利権」と「メディアの宣伝力」である。

西澤会長挨拶



小池都知事は本物か。現在、東京で起こっている築地移転問題は、青島知事が都市博を中止して立ち消えになっていたが、2008年石原知事が突然、「築地を2016オリンピックのプレスセンターにする」と言いだした。この記者会見では築地の移転先は東京ビックサイトの活用であった。しかし、都は、すでにこっそりと豊洲・東京ガス跡地を調査し、安全宣言を出した。これに対し私た



ちが独自に調査した結果、ベンゼンでは何万倍という汚染数値が出た。築地移転反対のデモも行われていた。そして最大の山場の2011年3月11日、都議会で「築地移転関連の予算案」は、民主党など野党が一票多い63票の反対多数で否決される予定だった。ところが、特別委員会委員長の民主党花輪議員が寝返り、本会議では予算が可決された。その日の夕方、東日本大震災が起こる。築地の土地は当時2兆円と言われ、日本橋銀座界隈は地上げにさらされており、利権が取り沙汰されていた。その後、花輪は世田谷区長選に自民党から出て落選した。

小池知事が本物なら、①築地移転を止める。②石原元知事の責任・利権を明らかにする。③花輪都議変節

に潜む闇・利権を公に晒すことが最低限必要である。しかし、賈物の小池が出す結論は、マスコミに「時間切れ」と言わせて、豊洲を多少直して、市場を移すことになるだろう。

賈物に抵抗する私たちの持つ力は「数」とばらばらにされない「ネットワーク」だ。

日退教は、9月4日から8日まで中国へ研修旅行で行ってきた。ただ参加者45人中、日退教会員は少なく「悠々ライフ」（いきがい支援協会機関紙）で知った人が多かった。日退教の持つネットワークはまだまだ弱い。私たちが力を持つには単会から個人へのネットを強固にし、もっと会員を増やす必要がある。今まで私たちは、「現退一致」といつてきたが、再任用制度の導入や18歳選挙権の新しい状況では「現退なし」といいたい。私たちは、学校現場と地域社会をつなぐ架け橋になる必要がある。そして当面、日教組組合員を全員日退教へと運動を進めたい。

この集会を、日退教が大きく翼を広げる機会となることを期待して挨拶とする。

日
退
教
通
信

No. 369

2016.11

日本退職教職員協議会

〒101 0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F
発行責任者 竹田邦明 TEL 03(52275)2197 FAX 03(52275)2081
Email nitaikyo@gmail.com 〒4-2-7 URL <http://www.nitaikyo.com>



住谷圭三さん（福島退）

原発事故5年半経過の 福島現状と課題

住谷圭造 福島退教

資料1～資料6によって、福島現状と課題が語られた。まずは住谷氏個人が線量計を用いて毎日測定した月毎の放射線量とその累計について。この9月は2011年3月の放射線量と比較して減少はしているが、それでも月間59マイクロシーベルトで、累計総量は8069マイクロシーベルトに達している。毎年開催される反原発集会は、第1回目は16000人が参加したが、今年の集会は6000人に減少。県内での反原発の意識の減少も見られる。

森林関係の除染は手付かずの状況が多い。福島第1原発の6号機の廃炉は確定してい

るが、作業は殆ど進んでいない。第2原発の廃炉を目指して、双葉・大熊の現地が稼働に反対をするようならば廃炉という特例法を作る流れになっている。避難解除にも多くの課題が残されている状況下で何故避難解除を急ぐのか？ 除染処理後の袋が住谷氏の庭にはまだ残されている。高レベルの廃棄物は今のところ置き所がない。166名が甲状腺がん診断されて、摘出手術を受けた子ども116名という状況で、子どもたちの甲状腺がんは深刻な問題である。距離が遠いので安全と思われるが、放射線量が高い津島地区に避難させられたことが大量被ばくや子どもの甲状腺がんに結びついた可能性が大きい。未だ、東電からも国からも事故の謝罪はない。

「違憲の戦争法案」「憲法改悪」に抗する取り組み

中森 司 北退教

函退教は会員800名ほど。全員が参加できる活動として、「安保法案」の強行採決に抗議し、「撤回」を求める「ハガキ集中」行動を提起し、多



中森 司さん（北退教）

くの会員の参加を得た。戦争法案成立後も、安倍政権に対して「安保法案に反対するはがき」行動を2次にわたって取り組んだ。この取り組みは、北退教を通して全道・全国の退教に働きかけたものだった。2016年4月の衆議院補欠選挙と7月の参議院選挙にも、民主勢力を回復するため、比例区では日政連候補の、北海道選挙区では3人区で2名の当選を目指し積極的に取り組んだ。現在も週1回のデモを繰り返し、10月8日に札幌で開催された原発反対集会には2000人の参加があり、私達も参加して来た。

2015・16年の安保法 反対・改憲反対の地区退教 のとりくみ

黒田昭八 静岡退教

静岡県退教協は結成から20年、会員数は500名余り。

その中で、清庵地区退教は清水区を基盤とした組織で、会員凡そ10数名。結成以来、いつも活動しながら会員を拡大することを心掛けてきた。

昨年1月から今年にかけて、「安保関連法案」反対・中学校教科書の採択問題・会員の特技を生かして心を豊かにすること・戦争法案阻止・改憲反対・・・などの取り組みを進めてきた。その中で特に「安倍政権の改憲の動き」については、感想・意見を募集し冊子『声』にまとめ、10月8日にはその冊子を基に学習会を開いた。報告のみならずグループに分かれて話し合いを持ち、画期的な会となった。その話し合いでは、無理にまとめたり結論を出したりせず意見交換をした。今後とも継続して話し合っていくことにしたい。



黒田昭八さん（静岡退）

組織拡大・強化と 退教協の目的

河下卓司 愛知退教

愛知退教協でも組織率・加入率の減少に伴う財源減少が運営上厳しい現況を生み出している。そのような状況下で、組織率の減少に歯止めをかけるべく、2008年より校長会の会合にも副会長・事務局次長がかけ入会を呼びかけた結果、入会数の増加傾向がみられる。現退一致で「愛知の教育をよりよくしていく」という目的を理解していただくことが何よりも大切と考える。参議院選挙でも「現退一致」を貫き、様々の取り組みに工夫をこらした結果、愛教組織推薦の斎藤よしとか候補と、比例区なたにや正義候補の当選を果たせた。「沖繩と連帯する沖繩交流団」にも取り組み、報道や資料等では感じる



河下卓司さん（愛知退）

ことの出来ない沖縄の現状を知った。

「東アジア海外研修旅行」では哈爾濱などの教職員や子どもたちとの交流を図ることも出来た。海外への親睦旅行やクラシックコンサートも好評を博している。「東日本大震災」「熊本地震」災害救援連帯では多くの方からカンパの協力を頂いた。

鹿児島県退教における組織強化・拡大と財政確立の現状

南 良樹 鹿児島退教

鹿児島県退教協の会員数は1650名。その年齢区分を分析すると、75歳～80歳が最大の人数で、75歳以上が2/3を占めている。70歳～75歳が20%、60歳～69歳が300人というのが組織の現状。高齢化が進み、行動できる会員が少なくなってきたことが、各地区共通の悩み。



南 良樹さん（鹿児島退）

そんな中で会長になって間もない私は「気持ちが悪く退教協」の生活と活動を実践出来ないかと考えている。具体的には月一回の「県退教協だより」を作り、会員へ手配りで渡し、顔の見える運動に取り組む中。言わば、繋がりのある運動を模索中。隣の人の向こう三軒両隣の人の人間的な付き合い・繋がりを作っていかねばならないと考えている。また、退教との連帯をはじめ、今後の展望を拓く様々なチャレンジを必要としている。

第2分科会

「教育・人権・組織」

◆レポート名

千葉県退教の報告

平野直比古 千葉退教

県教組委員長名での勧誘文



平野直比古さん（千葉県退）

書や本音を語りながらの地道な個別呼びかけで、支部での組織拡大をはかっている。悩みは参加各組織とも同じのようだった。加入は人間関係が影響を与えることが大きいのでキーになる人から声掛けを依頼した、定年以後も再任用などで働く人が増え組織化が困難といった発言も多かったが、加入者が増え役員会が開かれるようになった、平和問題での学習会に多くの人が参加したなどの報告もあった。

「敗戦70年誌 語り継ごう戦時・戦争体験」発刊の取り組みについて

小林永三郎 埼玉退教

表記の資料を会員に執筆依頼し作成。会員や公共図書館に配布、希望者に販売した。経費や期日や人員の関係で直接聞き取りはできず90代の方の貴重な体験が載せられない



小林永三郎（埼玉退）

かったのは心残りである。参加者からも体験記の発行例がいくつか報告された。退教や組合の古い資料が編集に役立ち、また平和学習に利用され、学校図書館や国会図書館への配布も有効など意見が出された。

教科書採択に対する取り組み

中 幸雄 石川県退教

加賀市で「教科書採択委員会」の全会一致の推薦を無視し非公開の教育委員会で育鵬社教科書が採択された。この問題で現職組合からも集会への参加呼びかけがあった。退職者も教科書展示会で実物を見て実態を知った。教育委員会のあり方に問題が大きい。参加者から親を含めた地域の運動で育鵬社採択をさせな



中 幸雄（石川県退）

かった事例などが報告された。市民と連携すること、当局と対抗する体制をとれることが重要だという意見が出された。

政令市初めての市会議員選挙を産別連携で取り組んだ

正林民雄 熊本高退教

数年に渡る他市議選の結果分析から熊本市議選の予測を行い、連合熊本に要請し産別に振り分け推薦で候補者名の浸透を図った。産別横断的地域ネットワーク作りなどが次期に向けての課題である。メディアを押さえられている現状ではSNSの活用等も視野にいれる工夫が必要で、退職者が先導役を担おうとの前向きな報告であった。参加者からも、現職にできないことをやる時代、地域運営に関わる役職を引き受けるなどで動ける範囲で地元を固めようとの声が出された。



正林民雄（熊本高退）



平良文男 (千葉高退)

「組織強化・拡大に向けた取り組みと課題」

平良文男 千葉高退教

退職後に再任用制度ができたから、退職者をどう組織するかが大きな課題となり、活動方針をしっかりと実践に移す取り組みを行った結果、例年12名程度の拡大が、2014年18名、15年23名、本年度9月現在21名を拡大した。

拡大方法は、退職組合員の名簿をもとに、あて名書き、しかも知り合いには名前を添えて加入を勧める、便りを出し続けることである。

「奈良退職教職員協議会

(日退教奈良)20年の歩み」

辻本和行 奈良退教

奈良県退教は、組織が結成されてから今年2月で、20年を迎えた。活動の柱は、平和・



辻本和行 (奈良県退)

学習・親睦である。平和の取り組みでは、「私の戦争体験集」の発行に力を入れてきた。学習では、年1〜2回様々なテーマで学習してきた。親睦では、年1回の県内の歴史・自然探訪や女性退職教職員の集いや、様々な趣味の会を行っている。

「岡山県議会選挙のとりくみ」

種延 茂 岡山退教

岡山県議会選挙の選挙区は19あるが、その中の県北部の津山市・苫田郡選挙区に勝田郡が合区され、しかも定数1



種延 茂 (岡山退)

減の4名区である。前回2011年4月の選挙で、民主党は2名候補者を立て、共倒れをし、自民党が議席を独占した。今回、教組出身の新人を擁立し、28票差であったが、1議席を獲得することができた。

「いまり菜の花の会」の活動について

中島晴気 佐賀退教

退職者の生きがいとして、ランドゴルフを週2回楽しんでいたが、他に何か社会貢献活動ができないかという話になり、環境にやさしい菜の花を植え、美しい街づくりにしようとして始めて13年になる。現在は市内にある23全ての保育園と交流をしている。
※印「いまり」とは「伊万里」である。



中島晴気 (佐賀退)

◆編集後記◆

9月に映画『シン・ゴジラ』を観た。興行成績は上々で、急遽上映が延長された。観終わって外に出たら、次回上映待ちの若い女性が多数並んでいた。ゴジラのデビューを観たのは小学生の頃だった。面白くもあり迫力もあった。核実験の落とし子であるゴジラに、そこはかといふ哀愁と共感を持ったことを覚えている。

さて、『シン・ゴジラ』であるが、災害多発、縦割り行政、米国への従属、過去の歴史に学ばない等、妙にリアリティーがあった。その中で困難を克服し、危機回避を果たした主人公達や自衛隊が輝いて見えてしまう。売り物の破壊場面は特撮やCGとはいえ、凄まじくさすがだ。ゴジラが見る見るうちに進化していく様子が特に印象深かった。「シン・ゴジラ」も核の廃棄物から誕生したのだが、最終場面でゴジラ凍結に成功し物語は終わった。ゴジラが解凍されて再活動する可能性も感じながら観終えた。原発そのものがすぐ思いつくほど、メッセージ性が高いドラマだった。

途中、投棄された核廃棄物のドラム缶が海底に沈んでいる様子が映し出されていた。全面禁止となる迄の日本を含む13ヶ国による海洋投棄が、報告されている。あのドラム缶は、今も海中に放射性同位体を溶出し続けている。現在の日本も、核で汚染された水溶液を海に垂れ流している。そのことも含めて、この映画の発信するところを受け止めなければならなと思った。

(か)